

総務省主催 デジタル活用共生社会実現会議
ICT地域コミュニティ創造部会（2019年3月12日）

やさしい日本語 × 多言語音声翻訳



小平市地域振興部文化スポーツ課 主任 萩元 直樹

自己紹介・経歴

2007年	入庁 高齢者福祉課にて高齢クラブ等を担当。
2010年	小平市中央公民館にて約800コマの事業を担当。社会教育主事資格取得。 国立教育政策研究所講師や公民館活動をテーマとした講演、専門誌への執筆など、全国的に注目を受ける
2015年	東京都オリンピック・パラリンピック準備局に派遣。多言語対応を担当。 小売業界の多言語対応プロジェクトチーム発足。 やさしい日本語の普及(多言語対応・ICT化推進フォーラムや多言語対応協議会ポータルサイト) VoiceTraをはじめとするICT普及等
2016年	リオデジャネイロ2016パラリンピック視察。約400人の外国人と交流。
2017年	小平市文化スポーツ課にて東京2020大会、文化振興、多文化共生などに取り組む。 「やさしい日本語」と「VoiceTra」を全国で初めて掛け合わせた取組などを実施。 また、プライベートの領域にて、東京2020大会に向けた地域活性化をテーマとした各地での講演や専門誌『社会教育』への連載(現在23回)に取り組む
2018年	平昌2018パラリンピック視察。 全米で最も住みたいまち1位のオレゴン州ポートランド市視察

プログラム 1

はじめに



リオ2016大会でのVoiceTra体験

**JAPAN HOUSEにてNICTと共に
VoiceTraのプロモーション**

TOKYO 2020 JAPAN HOUSE

5 a 21 de agosto / 7 a 18 de setembro

5-21 August / 7-18 September









リオ2016大会でのVoiceTra体験

**新装ブラジルポルトガル語
での音声翻訳**



**約400人の外国人と話す中で、
VoiceTraとやさしい日本語の
親和性に気づいた**

2018年度にリオでの着想を具体化

東京2020大会に向けた
外国人おもてなし事業

公認プログラム



さあ、世界中の人と話そう！

やさしい日本語 × 多言語音声翻訳で

小平から始める おもてなし

Towards 2020 & Beyond 2020

2018年10月20日(土)～2019年3月まで (全6コマ)

対象: 2020年に向けて取り組む個人または団体

主催: 小平市

共催: 小平市国際交流協会 こだいら観光まちづくり協会

【参考】事業スケジュール

	回数	日付	学習の形態	テーマ	学習支援者、内容など
ステップ1 小平で おもてなし 体験学習	1	10/20 (土)	講演	「やさしい日本語」×VoiceTraでおもてなし ～多言語音声翻訳アプリで外国人と交流しよう～	①講演 やさしい日本語ツーリズム研究会 事務局長 吉開 章 様（株式会社電通） ②講演 国立研究開発法人情報通信研究機構 先進的音声翻訳研究開発推進センター 企画室 藤田 智子 様 ③VoiceTra体験（訪日外国人役を演じる在住外国人 10名との交流）
	2	10/27 (土)	WS	おもてなし活動の実践に向けて	第1回目のふりかえりと、次回以降のおもてなし体験に向けての準備を行いました。グローバルなツールとしてGoogle®翻訳のアプリの使い方も学びました。
	3	11/3 11/4 (土・日)	体験	11/3「平櫛田中彫刻美術館 秋のお茶会」でのおもてなし活動の見学（※ 希望者のみ） ～昨年度受講者のおもてなし活動を見学しよう～ 11/4「中央公民館サークルフェア」でおもてなし活動 ～外国人の文化体験を案内しよう～	2020年の文化プログラム会場を想定して、訪日外国人役を演じる在住外国人が「サークルフェア（サークル体験会）」を楽しんで回れるよう、受講者がおもてなし体験をしました。 そのために、昨年度の受講者が実践している「やさしい日本語」を活用した美術館ガイドの見学も行いました。
	4	12/15 12/16 (土・日)	体験	「東京2020オリンピック・パラリンピックを感じるスタンプラリー 食・農・文化めぐりん小平」文化施設でおもてなしツアー（ガスミュージアム、多摩六都科学館ほか）	2つの文化施設（観光施設）と商店街において、訪日外国人役を演じる在住外国人を受講者がおもてなしする体験学習を行いました。
ステップ2 新宿で 案内体験	5	3月	WS	「新宿訪日ゲストヒアリング体験」に向けて 「ようこそ言葉」を英語・中国語・韓国語で学ぼう（予定）	一般社団法人ジャパンショッピングツーリズム協会の学習支援のもと、実際に新宿などの観光地で訪日外国人とのコミュニケーションを体験学習する予定です。
	6	3月	体験	新宿で訪日ゲストヒアリング体験（予定）	
ステップ3	—	小平でできるおもてなしを考えよう ※活動先の紹介等 ⇒次年度の企画につなげていく			

プログラム 2

**「やさしい日本語」
現状と、その未来**

「やさしい日本語」とは

**日本語初学者にも
わかりやすいように
語彙や文法を
調整した日本語**

「やさしい日本語」の例

高台に避難してください。

→高いところに逃げてください。

お召し上がりになりますか？

→食べますか？

定刻10分前に集合して下さい。

→9時50分に来てください。

やさしい日本語「はさみの法則」

東京外国語大学荒川洋平教授提唱

はっきり言う

さいごまで言う

みじかく言う

「やさしい日本語」の主な役割①

減災のための「やさしい日本語」

（弘前大学 佐藤和之教授）

平時における情報提供の手段

（一橋大学 庵功雄教授）

「やさしい日本語」の主な役割②

行政の広報ための「やさしい日本語」
（横浜市など）

報道における情報提供の手段
（NHK「NEWS WEB EASY」など）

「やさしい日本語」の発展

観光ツールとしての「やさしい日本語」
(やさしい日本語ツーリズム研究会)

2016年8月、福岡県柳川市 「やさしい日本語ツーリズム」事業と連携

内閣府地方創生加速化交付金事業

日本人向け



やさしい日本語バッジ

外国人向け



金子健次柳川市長(左)と、
戎義俊元台北駐福岡文化弁事処長



地方創生、
その手があったか！

「やさしい日本語」で
おもてなしをしよう！
英語でなくて、いいんです。



やさしい日本語ツーリズム研究会
事務局長 吉開 章 氏



多言語対応協議会も多言語対応の 1 手段として「やさしい日本語」に注目



東京都オリンピック・パラリンピック準備局
Bureau of Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games Preparation



2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた 多言語対応協議会ポータルサイト

文字サイズ

▶ [メイン](#)▶

多言語対応について

取組事例集

協議会について

参考資料等

[ホーム](#) > [参考資料等](#) > 「やさしい日本語」について

「やさしい日本語」について

「やさしい日本語」とは

「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語のことです。

<https://www.2020games.metro.tokyo.jp/multilingual/references/easyjpn.html>

2016年12月20日「多言語対応・ICT化推進フォーラム」 で90分の「やさしい日本語」パネルディスカッション

16:15～17:45 ホールA パネルディスカッション①

やさしい日本語の可能性

・登壇者

弘前大学 人文社会科学部 教授
一橋大学 国際教育センター 教授
横浜市国際局 政策総務課
やさしい日本語ツーリズム研究会 事務局長

佐藤 和之
庵 功雄
関谷 聡
吉開 章

・コーディネーター

首都大学東京 都市教養学部 教授

西郡 仁朗

・内容

全国的に多分野においてひろがっている「やさしい日本語」について、「災害対応」「生活情報」「行政情報」「観光ツール」の第一人者が初めて集い、「やさしい日本語」の可能性について多角的にプレゼンされた。
オリンピック・パラリンピックに向けた多言語対応を進める上で、さらに、ポスト2020年に向けた発展を目指すにあたって、相手の立場に立った多言語対応ツールとして、多文化共生社会に向かうツールとして『やさしい日本語』が存在している。
やさしい日本語に対して目を向けることができれば、多言語対応の取組主体も取組方法も広がり、大変意義がある。

メディアも「やさしい日本語」に注目



やさしい日本語 企業も 外国人労働者増え活用広がる



接客や社内交流
接客や社内交流
接客や社内交流

業務のやり
業務のやり
業務のやり

やさしい日本語
やさしい日本語
やさしい日本語

やさしい日本語
やさしい日本語
やさしい日本語

日本経済新聞

土曜版

NIKKEI 夕刊
2018年 4月7日 土
(平成30年)



「やさしい日本語」普及の壁

- (1) 敬語を使わず短く区切る話し方に慣れるのは簡単ではない**
- (2) 相手が本当に理解したかどうか、その場で検証する方法が困難**
- (3) そもそも日本語がゼロの外国人には、
「やさしい日本語」でも通じない**

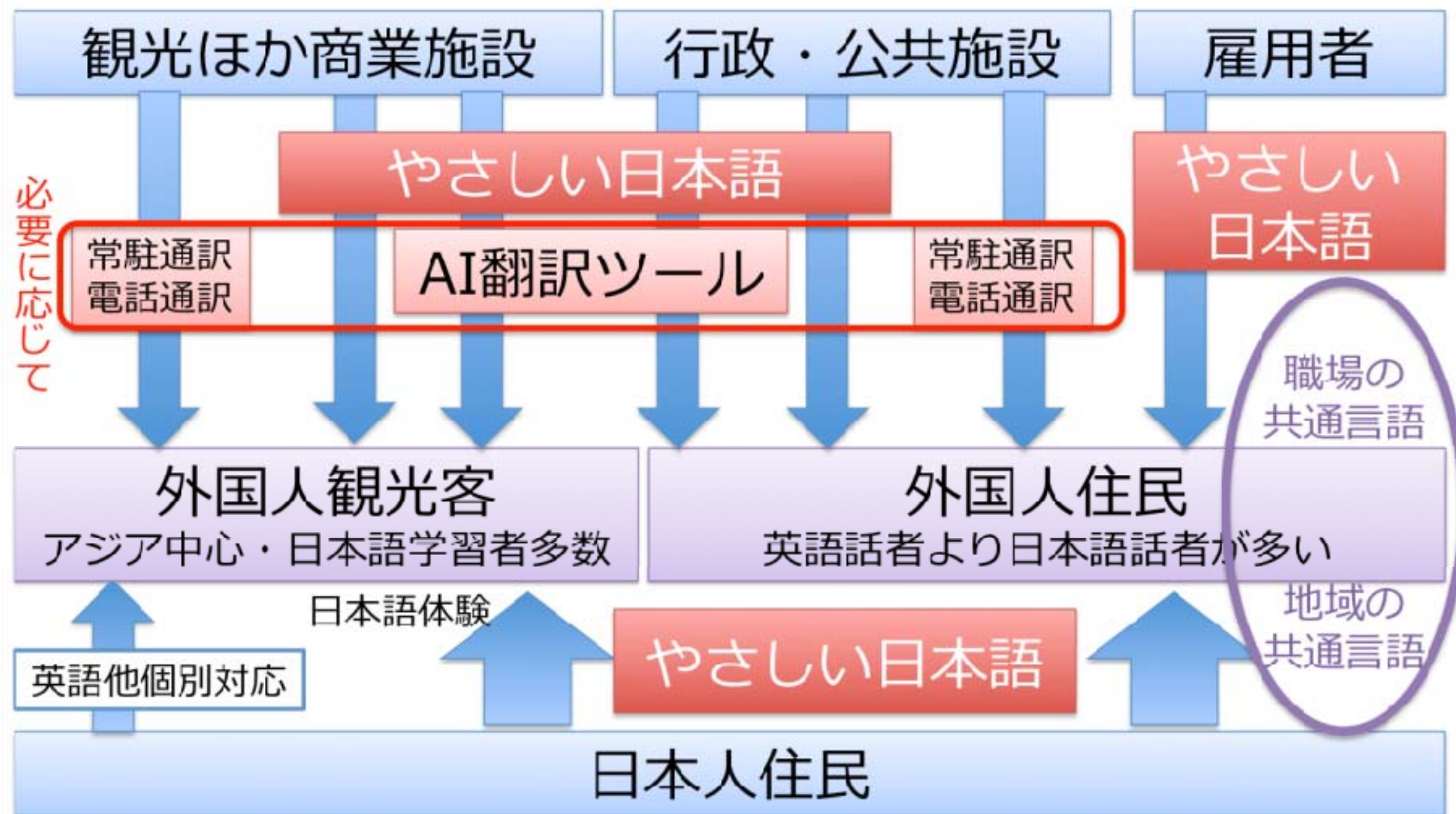
「やさしい日本語」の壁を破る

音声翻訳との連携

**→音声翻訳に認識されやすい話し方は、
「やさしい日本語」に通じる部分がある**

**→日本語が少し話せる人にも、ゼロの人にも
日本人が「やさしい日本語」を使う意義**

高度な語学は必要な時にツールや専門家に任せ、日本人は「やさしい日本語」にフォーカスすべき



2018年7月20日「グローバル人材2018」セミナー向けに作成
吉開 章（株式会社電通・やさしい日本語ツーリズム研究会事務局長）

「やさしい日本語」のこれから

多少日本語を話す外国人のために、
一部の日本人が必要に応じて心得る話し方

音声翻訳
の発展



在住外国人・
訪日外国人の増加
言葉の壁は乗り越えて
当たり前の時代

**世界と交流するために
日本人が
心得るべき話し方**

プログラム 3

多言語音声翻訳

多言語音声翻訳アプリ

※情報通信研究機構資料より引用



NICTの音声翻訳技術を実証実験の一環として公開

- 31言語間の翻訳、18言語の音声入力、15言語の音声出力が可能
- 短文の旅行会話を中心とした生活会話が得意
- iOS、Androidのスマートフォンやタブレットに対応

※利用無料、インターネット接続必要



サポートサイト

<http://voicetra.nict.go.jp/>

翻訳できる言語（31言語）

翻訳できる言語は 31 言語です。（中国語、ポルトガル語の方言を含みます。）

🔊 音声で入力できる（18言語対応）

🔊 音声で出力される（15言語対応）

🔊🔊 今後対応予定

🔊🔊 日本語	🔊🔊 ベトナム語	🔊🔊 シンハラ語	🔊🔊 ポーランド語
🔊🔊 英語	🔊🔊 スペイン語	🔊🔊 デンマーク語	🔊🔊 ポルトガル語
🔊🔊 中国語（簡体字）	🔊🔊 ミャンマー語	🔊🔊 ドイツ語	🔊🔊 ポルトガル語（ブラジル）
🔊🔊 中国語（繁体字）	🔊🔊 アラビア語	🔊🔊 トルコ語	🔊🔊 マレー語
🔊🔊 韓国語	🔊🔊 イタリア語	🔊🔊 ネパール語	🔊🔊 モンゴル語
🔊🔊 タイ語	🔊🔊 ウルドゥ語	🔊🔊 ハンガリー語	🔊🔊 ラオ語
🔊🔊 フランス語	🔊🔊 オランダ語	🔊🔊 ヒンディ語	🔊🔊 ロシア語
🔊🔊 インドネシア語	🔊🔊 クメール語	🔊🔊 フィリピン語	

VoiceTraをうまく使うコツ

※情報通信研究機構資料より引用

(1) 話しかけるとき

- ・マイクと口の距離は、**2センチ**ぐらい。
- ・マイクボタンを押したら、**すぐに**話し始める。
- ・文章は**簡潔に**、途中で詰まったら最初から。

押したらすぐ話す。
文章は簡潔に。



(2) 翻訳がうまくいかないとき

- ・翻訳がうまくいかなければ、**言い方**を変える。
- ・場所、物の名称、人名など、
翻訳できない固有名詞もあります。

例えば、
主語や**述語**を入れる。

✕ 「お腹が痛いのですね？」
○ 「あなたはお腹が痛いのですね？」

最初の声掛けを自分からすると、翻訳機だと分かってもらえます。



多言語音声翻訳の位置づけ

※情報通信研究機構資料より引用

対応手段		解決できる内容
直接対話	外国語に堪能になる／ 堪能な社員を雇う	自社の業務に完全に対応 契約締結、トラブル処理も可能
人による通訳	通訳	状況に応じた柔軟な対応 コンシェルジュ的な対応
	電話通訳サービス	24時間・365日対応。 5言語程度の対応。
アプリ・ツールの 利用	音声翻訳サービス・機器	旅行会話中心の短い会話 気づきを伝える／気軽な会話
	指差し会話シート	必要な会話に限定した意思疎通 (タクシー、ショッピング、病院等)
なんとかする	片言、身振り・手振り、筆談	最低限の情報伝達

短所： 翻訳精度や使い勝手が発展途上。あくまで「道具」として、習熟が必要。

長所： 気軽に使い、人による通訳と比べ、多数の言語に対応可能。

→ 多言語音声翻訳を適切なコミュニケーションに組み込む工夫 「適材適所」

プログラム4

小平市の取組

DAY1

@小平市中央公民館









DAY2 @小平市中央公民館



DAY3 @小平市平櫛田中彫刻美術館







粘土 Clay
石膏 Plaster
木彫 Wood Carving
銅像 Bronze Statue

満火器

銅像七試作像





DAY 4 @ 中央公民館サークルフェア





サークルフェアでのふりかえり①

＜良かったこと・うまくできたこと＞

- ・意思疎通でき、文化体験を楽しめた
- ・外国人1人に対して日本人2人だと助け合える
- ・多言語音声翻訳に頼りきらずに気持ちをいれるとより伝わる
- ・難しい言葉のフリップは効果的
- ・体験的なことは、言語に頼らずに楽しめることが多いので仲良くなれた
- ・おせっかいくらいの関わり方で良かった

サークルフェアでのふりかえり②

＜改善点＞

- ・イベントでおもてなしする時には予習が必要
- ・特に2020年の文化プログラムでは、初めて体験することが多いため、このやり方の練習を積んでおくことが大事と痛感した
- ・施設の案内とは違ってイベントの案内では格段に難しいため、よりやさしい日本語を意識して多言語音声翻訳する必要があった
- ・単語でもいいから伝えようとする気持ちが大事



DAY5 @ガスミュージアム



DAY6 @ 多摩六都科学館

プログラム5

まとめ

多言語対応の手段

①やさしい日本語

②多言語音声翻訳



それぞれが多言語対応に
欠かせない手段の1つ

やさしい日本語×多言語音声翻訳の実用性

ユーザー	やさしい日本語	多言語音声翻訳
性格	在住外国人向けの手段 ⇒多文化共生	訪日外国人向けの手段 ⇒観光・おもてなし
課題	日本語を理解しない外国人への 対応ができない	①翻訳しづらい発話 ②ある程度日本語が分かる外国人 や日本語で話したい外国人の 対応が難しい
解決方法	多言語音声翻訳の活用	やさしい日本語を学習
実用性	訪日外国人対応が可能となる ⇒観光・おもてなし	①翻訳効率の向上 ②在住外国人対応が可能となる ⇒多文化共生

注目① 多言語対応・ICT化推進フォーラム

※2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会ポータルサイトへ掲載

多言語対応・ICT化推進フォーラム 「やさしい日本語×多言語音声翻訳」

講師：小平市地域振興部文化スポーツ課 主任 萩元 直樹氏

やさしい日本語ツーリズム研究会 事務局長 吉開 章氏（株式会社電通）

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT) 先進的音声翻訳研究開発センター 企画室 藤田 智子氏

「2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会」により、多言語対応の取組事例を広く共有・発信するための「多言語対応・ICT化推進フォーラム」が12月20日に開催されました。「やさしい日本語×多言語音声翻訳」セミナーでは、講師の萩元直樹氏、吉開章氏、藤田智子氏により、やさしい日本語の役割や多言語音声翻訳技術の開発計画、小平市において行われている外国人おもてなし事業についての講演が行われました。

「やさしい日本語×多言語音声翻訳」とは、リオ2016大会JAPAN HOUSEにおいて、萩元氏がNICTと共に行ったVoiceTraプロモーションの中で得た着想をベースに、2018年度より小平市の「東京2020大会に向けた外国人おもてなし事業」として進められているものです。

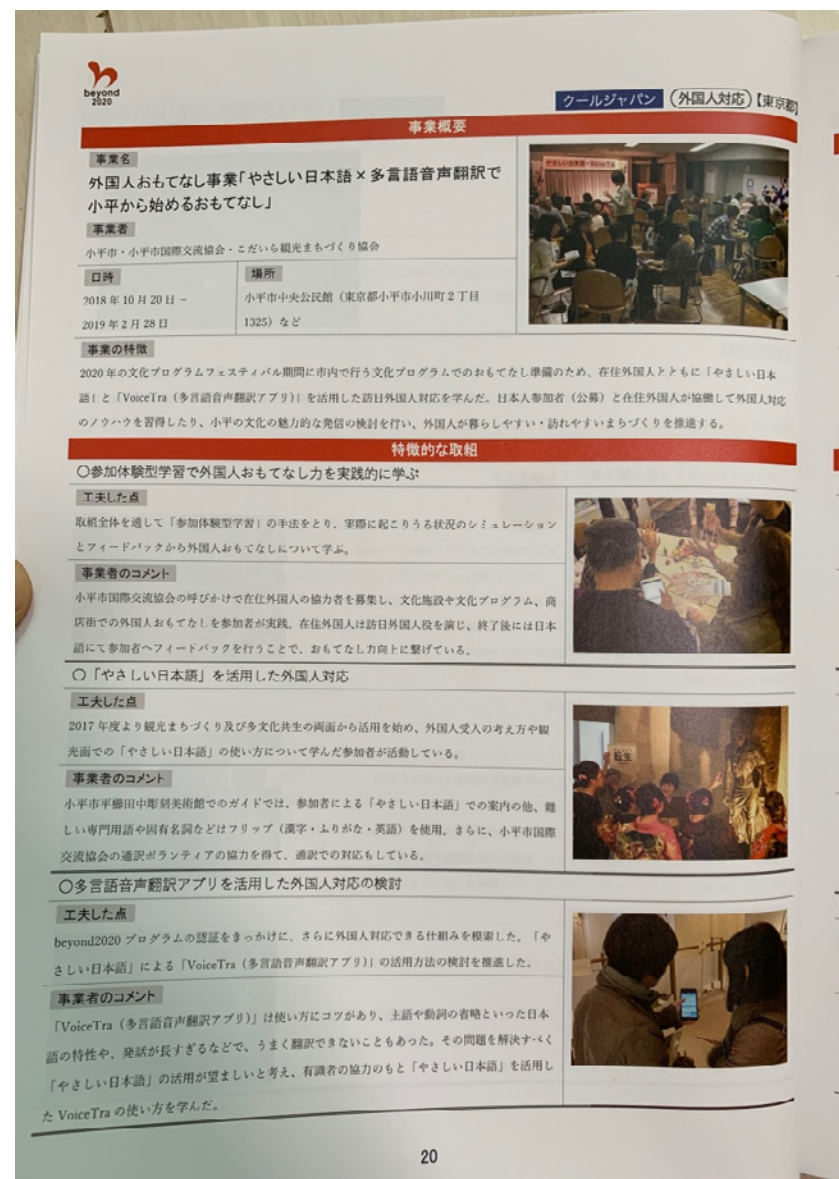
やさしい日本語の啓発活動を行う吉開氏は、「やさしい日本語」とは日本語初学者のために、やさしい語彙や文法で話す日本語であると説明します。やさしい日本語では、はっきり言う、さいごまで言う、みじかく言うの「は・さ・み」の法則が重要であると言い、中でも大事になるのはみじかく話すことであり、お召し上がりになりますか?」のような敬語ではなく、「食べますか?」と話すことがやさしい日本語の考え方であると説明しました。

やさしい日本語とは、阪神淡路大震災の時に神戸に住む外国人の初期誘導で一番通じた言語が、中国語でも英語でもなく簡単な日本語であった、とい



注目② beyond2020プログラム認証事例集

※優良事例として約10000件の中から選定



注目③ 毎日新聞

毎日新聞

【新聞定価1ヵ月 4,037円(本体価格3,738円+消費税299円)】1部売り(消費税込み) 朝刊140円 夕刊50円 (第3種郵便物認可)

にほんごでおもてなし

災害時に外国人に情報を伝えることを想定して考案されたやさしい日本語の導入が、観光や行政サービス、教育などの分野にも広がっている。2020年の東京五輪・パラリンピック開催や、改正入管法施行で外国人観光客や労働者が増えることを視野に、自治体などが採用し始めた。関係者は「日本に住んだり訪れたりする外国人の増加で言語も多様化する中、やさしい日本語を共通言語にしたい」と話す。

【堀留行】

やさしい表現 観光・教育にも

やさしい日本語は、2005年の阪神大震災で、言葉が通じずに必要な避難情報などを受け取れない外国人が多く出たことをきっかけに考案された。召し上がるは「食べる」、土足厳禁は「くつをぬいでください」など、分かりやすい日本語は、

やさしい日本語

阪神大震災をきっかけに、

前大の佐藤和之教授の研究グループが考案。東日本大震災(2011年)でも「高台に避難」ではなく「高いところへ逃げる」と伝えれば救えた命があったと指摘され広まった。明確な定義はないが、「です」「ます」を使う▽二重否定や受け身、敬語、方言は使わない▽漢字にルビを振る▽一文ずつゆっくり話す―などのルールがある。

召し上がる→食べる 土足厳禁→くつをぬいでください



やさしい日本語とポイストラを活用する東京都小平市の事業で、外国人に「多摩六都科学館」を案内する参加者(右)小平市提供

リズム研究会の吉開章事務局長(左)は「入管法改正で多くの外国人を受け入れたときに言葉が通じないのは、日本が難しいからかもしれない。英語が必要」と思っている人も多いが、やさしい日本語でも伝わることを知ってほしい」と話す。

東京都小平市は20年に向け、外国人のおもてなしに、やさしい日本語の使用と、日本語を外国語に翻訳してくれる多言語音声翻訳アプリ「VoiceTran(ボイストラン)」を組み合わせた取り組みを進めている。

きっかけは、16年にブラジルで開かれたリオデジャネイロ・パラリンピック。東京都のオリンピック・パラリンピック準備局に出向中だった市文化スポーツ課主任の秋元直樹さん(34)が、現地視察した際にポイストラを使って会話しようとしたところ、うまく翻訳できなかった。簡単な日本語を使うことで、意味を理解してもらう。この経験を

基に、昨年度から外国人へのおもてなしを学ぶ事業に、やさしい日本語とポイストラを導入。美術館などで外国人への観光案内を体験してもらっている。

東京都港区は、ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)やメールマガジンでの生活情報発信に活用している。1月から

は人工知能(AI)を使ったチャットで、外国人向けに生活情報の提供を開始。防災▽こみの出し方▽教育▽子育て▽医療―など8分野について、やさしい日本語と英語の質問を受け付ける。

教育分野でも導入が広がっている。東京都墨田区は小中学校に通う外国籍の子どもが増えていることを受けて、昨年、学校でやさしい日本語を活用するための研修会を初めて開いた。外国人の児童生徒の担当教員を集めて、やさしい日本語の活用事例などを紹介し、各校での使用を促した。

区教委の担当者は「学校でも平易な言葉で分かりやすく伝える工夫をしないといけない」と、外国籍の子どもを孤立させることにつながるかならない。教育現場で何ができるか考えるきっかけにしたい」と話した。

注目④ 他市での講演

人口に対する 在住外国人比率 1位(多摩地域) の福生市にて 講演予定

平成 30 年度福生市公民館主催事業
たぶんかきょうせいこうざ
多文化共生講座



地域社会で生きる やさしい日本語と多言語音声翻訳 ～東京2020大会に向けて私たちができること～

福生市では、総人口に占める外国人の割合が多摩地域 1 位で、年々増加しています。

外国人の方に、地域社会に加わってもらうためには「相互理解」が不可欠です。また、来年に迫った東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けて、おもてなしの準備や多様な価値観を受け入れることも大切になってきます。

外国人とのコミュニケーションの基礎となる「やさしい日本語」だけでなく、多言語音声翻訳アプリ「ボイストラ」や東京 2020 大会から学ぶ「ダイバーシティ & インクルージョン（相互理解）」を、グループワークを取り入れて学んでいきましょう。日本語を勉強中の方も大歓迎です！

- 日 程○ 3 月 24 日 日曜日
- 時 間○ 午後 1 時～3 時
- 場 所○ さくら会館 3 階ホール
- 対 象○ どなたでも
- 定 員○ 先着 30 名
- 講 師○ 萩元 直樹 氏（自治体職員）



2007年 小平市高齢者福祉センターで高齢クラブ連合会を組織
2010年 小平市中央公民館にて約 500 コマの事業を担当。国立教育政策研究所講師や
社会福祉審議会委員としての講演、専門誌への執筆など、全国的に注目を受ける。
2012年 東京都オリンピック・パラリンピック準備局に派遣。多言語対応を担当。
2015年 リオデジャネイロ 2016 パラリンピック開会式、約 400 人と交流。
2016年 小平市文化スポーツセンターで東京 2020 大会、文化開典、多文化共生などに
取り組む。また、東京 2020 大会に向けた地域活性化をテーマとした講演
や専門誌『社会教育』への連載、「やさしい日本語」と「VoiceTra」を全国
で初めて掛け合わせた取組等で全国的に注目されている。
2018年 平成 2018 パラリンピック開会式、
全米で最も住みやすい都市 1 位のオレゴン州ポートランド市視察。



○申込み○ 3月5日(火) 午前9時から先着順にて受付
福生市公民館公民館係(さくら会館内) ☎ 042-552-2118

まとめ①

やさしい日本語ユーザー

⇒多言語音声翻訳ユーザーへ

多言語音声翻訳ユーザー

⇒やさしい日本語ユーザーへ

まとめ②

「観光・おもてなし」

「多文化共生」

両側面への寄与

まとめ③

だれでも 3 1 言語対応



多言語対応人口の増大

やさしい日本語

×

多言語音声翻訳

だれでもできる

＝ 多言語対応のうち
最も効率的な手段

やさしい日本語 × 多言語音声翻訳

全国各地で
⇒ 東京2020大会の
レガシーに！

おわり

どうもありがとうございました。